

IZMIR UNIVERSITY OF ECONOMICS

February 2024 Yuzune Kitagawa



EUROPE TRIP

長期休暇を利用して、一週間の初ヨーロッパ旅行に行ってきました。行先はオーストリアのウィーンとドイツのミュンヘンで、ミュンヘンはルームメイトと一緒に観光しました。イズミルからヨーロッパへの航空券はとても安く、どの国でも片道約2万円しかかかりません。それでも気軽に行けるような価格ではないですが、日本から行こうと思ったら時間もお金ももっと必要なので、今回がチャンスだと思って行くことに決めました。本当はチェコとスロバキアも回る予定でしたがイカメットを貰えなかったのもその二か国は行けませんでした、そのトラブルについては二枚目に書いてあります。

VIENNA

ウィーンは音楽と芸術の都と呼ばれる、美しい歴史的建造物が立ち並ぶ街です。有名な観光地が町の中心に集まっているのでほとんど歩きで観光できました。教会、宮殿、美術館などいろんな所に行きましたがどの建物もとにかく美しく映画の世界の中にいるみたいでした。夜はそれらの建物がライトアップされるのでまた一味違う魅力を感じることができ、一人で散歩して楽しみました。食に関しては、オーストリアの代表料理であるシュニッツェルというカツレツ、オーストリア発祥のチョコレートケーキであるザッハトルテを食べました。順調に旅行を楽しんでいた私でしたが、二日目の夜に自分がありえないくらいお金を使っていることに気づき、このままではすべてを使い果たしてしまうと思い、その時から心の底から楽しめませんでした。ヨーロッパを甘く見ていましたがやはり食事代、入場料など全てがとにかく高く、ある日の朝食ではパン二個とコーヒーで1500円かかりました。チップ文化があるのでそれを考えて払うが大変でした。あと硬水でお腹を下したので軟水のペットボトルを検索して買うのをお勧めします。



MUNICH

ウィーンから約6時間かけて長距離バスでミュンヘンまで行きました。フランスに旅行していた友人と合流し、一日目は市内観光をして教会や市場に行きました。この市場には新鮮な果物やチーズ、ソーセージが売られており、また可愛い雑貨屋さんもありました。ここで食べた白ソーセージとビールが絶品で、現在この旅行時から20日経っていますがまだ味を思い出せるくらい美味しかったです。二日目は電車とバスで中心地から二時間かけてノイシュバンシュタイン城に行きました。このお城に行くことは私の夢だったのでとても楽しみにして行きましたがお城の内部を見学するチケットが売り切れていて入れませんでした。オンラインで事前におくべきだったと後悔しましたが外からでもお城の美しさを存分に楽しめたので良かったということにしておきます。冬のヨーロッパは観光客が少なく楽しめましたが、旅行をした一週間の間ずっと曇りで、晴れだったらもっと綺麗な景色を見れたんだろうなあと思うことが多かったのもので、今度は晴れが続く夏シーズンに旅行したいです。





HAIR SALON

ヘアカットとカラーをするために美容院に行きました。以前留学生の友人がイズミルの美容院に行き、値段がすごく高い上カットのクオリティが低かったと言っていたので、失敗しないためにトルコ人の友人に普段利用している場所を聞いて一緒についてきてもらいました。トルコでは女性のヘアカットとカラーは合わせて一万円以上するのが相場らしいのですが、友人行きつけの場所は1000リラ（五千円弱）で施術してくれました！（友人行きつけの場所なので値段交渉してくれて少し安くなりました）美容師の方にはトルコ語しか通じなかったのが、友人に美容師の方に要望を伝えるのを手伝ってもらいました。美容師の方たちはとてもフレンドリーで優しく、リラックスして過ごせました。カットとカラーのクオリティは正直日本の方が高いですが、仕上がりに満足していますし安い値段で施術してもらえたので良かったです。

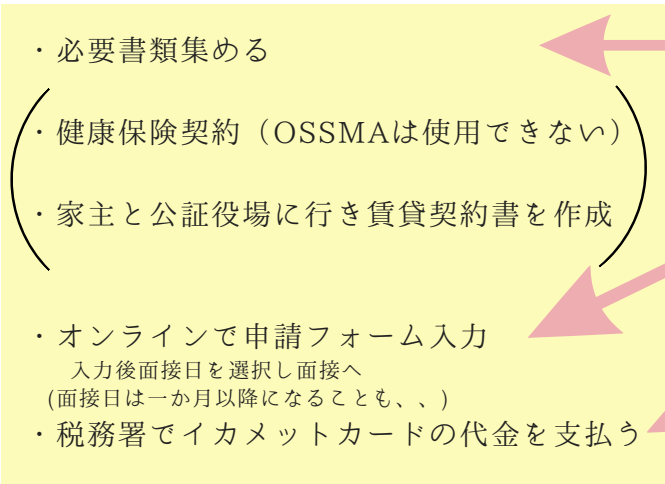
地獄のイカメット

●イカメットとは？

トルコに90日以上滞在する場合、**イカメット**という滞在許可証を取得する必要があります。私たちはインターネットや先輩方の留学レポートを基に情報収集しました。留学前に大使館に日本から発行するビザは必要か聞いたところ必要ないと言われたので日本ではビザの手続きはしていません。ですがその時によって変わるので**大使館への確認必須**です

イカメット申請のためにすべきことや必要書類はインターネットに詳しくのっているの、私はイカメット申請する上でやらかした自分の失敗談を書こうと思います。

～イカメット取得の流れ～



やらかしたこと・注意すべきこと

大学発行の在籍証明書、入学許可書が必要なのですが、student affairsに書類作成をお願いするメールを送りそれが出来次第取りにいけます。ですが何日経っても返信がないことがあります。その場合待つのではなく**何度もメールを送ったり電話しないといけません**。普通に後回しにされているか忘れられています。またこれらの**証明書の在学期間がそのままイカメットの滞在可能期間となるため、間違いがないか確認する必要があります**。私は大学発行の証明書の在学期間が半年になっていたので一年に変更して作り直してほしいとお願いしました。これで半年のままにしておくことイカメットの滞在期間が半年になってもう一度イカメットを取得し直さなくてはなりません。

イカメットの種類はstudentではなく**short term**を選択！私はこれを間違えて申請し直しになりました

イカメット申請フォームのfees informationの所にfee amountと**Residence Permit Document Fee**の二つが記載されていますが税務署で払うのは二つ目（赤字の方）だけです。その二つ目がイカメットカードの代金です。私は一つ目も間違えて払い戻し手続きをするはめになりました。私はトルコの銀行口座を持っていないのでトルコ人の友人にお願いして彼女の銀行口座に払い戻し額を振り込んでもらうことにしました。しかし手続きをしてから1か月半経った今、まだ振り込まれていません。いつになったら振り込んでくれるのでしょうか

先述した通り私は一回目の申請フォームで間違えてstudentを選択してしまい、申請し直しになりました。申請し直した期日がトルコに来てから90日を超えていたため、罰金2000TL（約9500円）+なぜ申請が遅れたか理由を紙に書いて提出する（トルコ語で書く必要があったため友人に翻訳をお願いした）はめになりました。

実は私の友人もstudentで間違えて申請していましたが、彼女の面接官は柔軟な対応をしてくれ面接時にshort termに変更してくれたのでそのままイカメット取得できていました。私はそのことを自分の面接官に言ったのですが、short termしか受け付けられないの一点張りでは私は申請し直しになりました。また、私と同じく申請し直しになった別の友人は、私と同様に罰金は支払う必要がありましたが、申請遅れの理由を書いた紙の提出は求められていませんでした。このように、面接官によって対応がバラバラでとても困惑しました。

short termの面接の際、面接官に罰金の紙用意できたら電話するので電話が来たら受け取りに来てと言われましたが、一週間経っても連絡がなく、一週間後にオフィスに行きまともえないのか聞くと、ああ罰金の紙ね。はい。という感じで渡されました。電話し忘れられていました。

次の日罰金を違う場所で払い、またイカメットオフィスに行くと、あなたの面接官は休みなので二日後以降来てといわれ、私は二日後から四日間旅行する予定だったので旅行後にもう一度行きました。するとあなたの面接官は五日間来ないのでそれ以降の日に来てと言われました。三日後からヨーロッパ旅行を控えていた私は、イカメットがないとトルコに再入国できないので旅行の日を削るはめになりました。そして五日後ようやくイカメットを手に入れ、その次二日後のフライトを予約してヨーロッパに飛び立ちました。このように、イカメットの職員はとにかく適当です。イカメット取得には膨大な時間と労力を必要とします。トルコ入国一か月以内に申請できるよう準備を進めましょう。



面接

一週間後家にイカメットが届く